

報道関係者各位

2017年4月19日

アーツ千代田 3331 特別企画展
『橋を渡る ～東京から江戸へ～』
開催のお知らせ

展覧会概要

アーツ千代田 3331では、このたび、2017年5月に当館が位置する東京・神田で行われる「神田祭」に合わせ、地域の歴史・文化を掘り下げる、アーツ千代田 3331特別企画展『橋を渡る～東京から江戸へ～』を開催いたします。

かつての江戸も現代の東京も、入り組んだ川や堀、大小の橋から成る「水の都」という側面を持っています。川にかかる「橋」は、地域と地域、人と人、内と外を繋げ、人と物の往来を活発化させる、都市における重要な装置であり生活の要所とも言えるでしょう。

本展では、神田祭の御神輿がめぐる氏子町内の堀川と橋を取り上げ、風景や暮らしが時代と共どのような変遷を遂げてきたのかを振り返る手がかりとして、古写真や古地図、ゆかりの品々を展示いたします。

また、会期中には貴重なフィルム映像の上映や江戸文化を体験したり、講義を受けることができるイベントを6本ご用意致しました。展示とあわせて関連イベントにご参加いただくことで、神田の町に一層理解を深め、町の魅力を再発見していただけることでしょう。



■ 開催概要

- ☐ 催事名：アーツ千代田 3331 特別企画展『橋を渡る ～東京から江戸へ～』
- ☐ 会 期：2017年4月30日(日)～5月14日(日) 11:00-18:00 ※会期中無休
- ☐ 会 場：アーツ千代田 3331 / 1階104、1階コミュニティスペース ※入場無料
- ☐ 主 催：アーツ千代田 3331
- ☐ 後 援：千代田区、一般社団法人千代田区観光協会、社会福祉法人千代田区社会福祉協議会、文化資源学会
- ☐ 協 力：神田神社、外神田十二睦、日本橋地域ルネッサンス100年計画委員会、名橋「日本橋」保存会
- ☐ 監 修：木下直之（東京大学教授）、滝口正哉（成城大学・立正大学非常勤講師）
- ☐ 特設サイト：<http://kanda.3331.jp/>

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 TEL: 03-6803-2441 (代表) FAX: 03-6803-2442

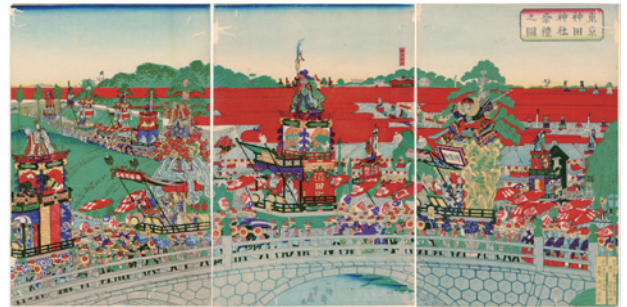
E-MAIL: pr@3331.jp <担当: 彦根、央戸> URL: <http://www.3331.jp>

展 示 概 要

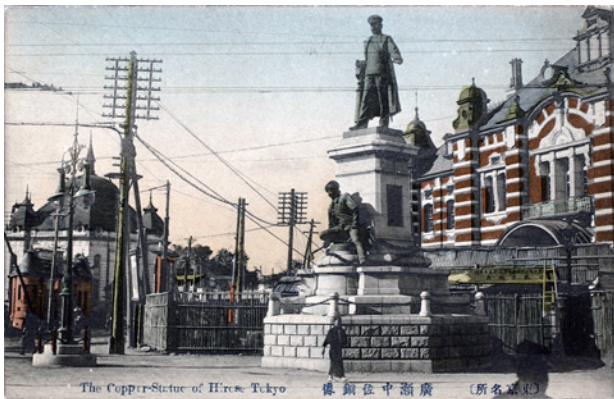
- 橋と通りにまつわる古写真、古地図、古い絵葉書などの数々を展示
- 橋は都市の要、日本橋は日本の要、常盤橋に見る明治の面影
- 今川橋で撮影された明治17年の神田祭、旧龍閑川と堀川の変遷
- 筋違橋御門の退場、万世橋の登場、広場と通り（ハツ小路、万世橋駅前、秋葉原・旧青物市場、柳原の古着市）
- 神田祭ドキュメント（神田五軒町々会の御神輿、子ども神輿、太鼓山車、氏子町会手ぬぐい、弓張り提灯）



今川橋から撮影した神田祭(明治17年／神田明神 蔵)



東京神田神社祭禮之圖（芳藤画）（神田明神 蔵）



廣瀬中佐銅像（絵葉書）



御神輿展示のイメージ（2015年開催時）

神田祭とは

江戸時代に将軍や御台所の上覧があったことから"江戸天下祭（えどてんかまつり）"とも称され、「江戸三大祭り」「日本三大祭り」のひとつに数えられる。大祭は2年に1度の隔年で行われ、江戸の町人文化を後世に色濃く伝える祭礼として大きな賑わいを見せる。神輿が繰り出す地域は、神田明神（御茶の水駅至近）を中心に、神田・秋葉原・神保町・東日本橋・大手町と広範囲に渡り、現代の都市空間を舞台に「東京」と「江戸」が繋がる一大風物詩である。

※神田祭開催日：2017年5月11日（木）～5月17日（水）

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6丁目 11-14 TEL: 03-6803-2441（代表） FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: pr@3331.jp <担当：彦根、央戸> URL: <http://www.3331.jp>

関 連 イ ベ ント

5月3日（水・祝）14:00-15:30

上映会「ライオン創業者／小林富次郎葬儀映像
（重要文化財）上映」

解説付きで見る、**重要文化財指定の貴重映像**に昔の神田の姿が映り込む。記録映像が撮影された背景や、フィルムが見つかったからのエピソードなどもご紹介いたします。

- 解説：松村伸彦（ライオン株式会社 社史資料室長）
- 料金：500 円（資料含む）
- 協力：東京国立近代美術館フィルムセンター

5月6日（土）第1回13:30-15:00 第2回15:30-17:00

講座「日本橋から3331へ～今昔の橋を渡ってまちの移り変わりをたどるトークシリーズ～」

本展覧会の二人の監修者が江戸時代から現代を取り上げる連続講義。

- 第1回 江戸の景観 ― 橋を渡るひとびと
- 第2回 明治の景観 ― 広場と通り

- 講師：第1回 滝口正哉（成城大学・立正大学非常勤講師）
第2回 木下直之（東京大学教授）
- 料金：1回1,000円、2回連続1,500円
（いずれも資料含む）

5月3日（水・祝）12:00-17:00

マーケット「三三三市／“お江戸” 再生・モノ市」



江戸の大きな古着市として知られた神田の「柳原の古着市」から着想し、アーツ千代田 3331でも「江戸から受け継がれるリサイクル魂」をテーマにマーケットを開催。人々が暮らしの中で見いだした、発想と知恵の溢れる商品が賑やかに並びます！

5月7日（日）10:30-12:00

体験会「神田囃子体験講座」

祭には欠かせないお囃子。子どもから大人まで参加できます。本物の締め太鼓を叩きながら江戸のリズムを体験してみよう！

- 指導：神田囃子 諫鼓
- 料金：子ども 500 円
大人 1,000 円



5月5日（金・祝）13:30-16:30 ※途中休憩有り

町歩き「木下栄三の重ね絵図で楽しむ江戸道散歩」

江戸時代の見附の場所（現代の橋）で、現代風景と重ねた絵図を見ながらめぐる。東京駅から万世橋までたっぷり3時間のツアーです。

- 案内人：木下栄三（画家、建築家）
- 料金：3,000 円（資料、保険料含む）



5月7日（日）15:00-16:30

落語会「立川志の春落語会TOKYO⇄EDOコラボ企画」

東京と江戸のまちを落語で繋ぐタイムトリップへようこそ。神田の青物市場が登場する落語『千両蜜柑』を聞いた後、当時市場で茶屋を営んでいたご先祖さんを持つゲストをお招きしてお話をうかがいます。千両蜜柑さながらの、果物の試食つきです。

- 出 演：立川志の春（落語家）
- ゲスト：たてやま西平（旧神田市場・市場茶屋）
- 料 金：2,500 円（果物試食付き）

※イベントの詳細はウェブサイトにてご確認ください。 ☞ <http://kanda.3331.jp/>

申 込 方 法

□申込方法：①～④をご記載の上、FAXもしくはメール、又はイベント申込サイトでお申し込みください。

①ご希望の参加イベント名 ②お名前 ③電話連絡先 ④Eメール

□申込締切：各開催日の3日前まで

□申 込 先：アーツ千代田 3331「橋を渡る～東京から江戸へ～」イベント係

◆FAX：03-6803-2442 ◆MAIL：wa2@3331.jp ◆イベント申込サイト：<http://kanda.3331.jp/>

《イベントお問合せ先》

アーツ千代田 3331 東京都千代田区外神田6-11-14（旧練成中学校）

TEL：03-6803-2441（代表） MAIL：info@3331.jp 担当：宍戸、嘉納、西川

[このプレスリリースに関するお問い合わせ先]

3331 Arts Chiyoda | アーツ千代田 3331

〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14 TEL: 03-6803-2441（代表） FAX: 03-6803-2442

E-MAIL: pr@3331.jp <担当：彦根、宍戸> URL: <http://www.3331.jp>